

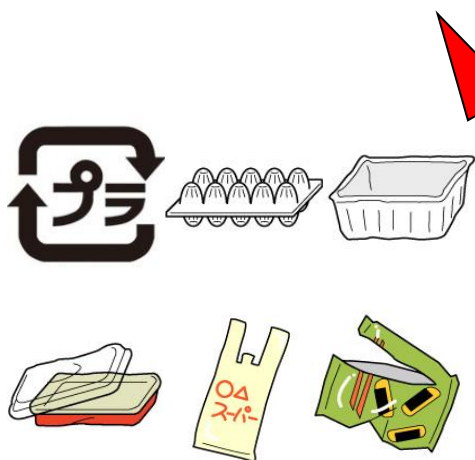
燃やせるごみから資源を分けましょう!

燃やせるごみを減らすために……

家庭から出る燃やせるごみを減らすためには、燃やせるごみの中から資源となるもの(資源プラスチック類や紙類)を分別することが重要です。また、生ごみを出す前に水切りをすることも減量化に効果があります。

その1 資源プラスチック類を分けよう!

- ★資源プラスチック類は、きれいなもの や 少し洗えばきれいになるもの を分けましょう!
- ★食品などで汚れたものは、においやカビが発生して資源になりません。
- ★卵のパックや豆腐の容器などわかりやすいものから分別を始めましょう!



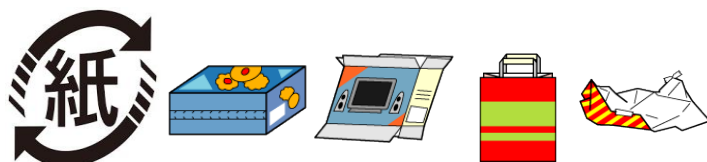
その3 生ごみの水切りも忘れずに!

- ★生ごみにはたくさんの水分が含まれています。
- ★生ごみはすてる前にひとしぼりしましょう!



その2 紙類を分けよう!

- ★紙はリサイクルできる大切な資源です。ほとんどの紙がリサイクルできます。
- ★紙の空き箱や紙袋などは、燃やせるごみではなく紙類の日に出しましょう!



【裏面】雑紙(ぎつがみ)の分別特集
裏面もご覧ください

燃やせるごみを減らすために

雑紙(ざつがみ)を分別しよう!

燃やせるごみの中には多くの紙類が混ざっています。家庭から出されるほとんどの紙類は分別すればリサイクルできます。燃やせるごみからリサイクルできる紙類を分別することは、燃やせるごみの減量化に非常に有効です。

1 雑紙(ざつがみ)とは・・・

新聞紙や雑誌・チラシ、ダンボール、牛乳パック以外の家庭から出るほとんどの紙類のことで、リサイクルできる紙類のことです。(紙についてのビニールや金属などの異物は取り除いて出しましょう)

【雑紙の例】 分かりやすいものから分別を始めましょう!

ティッシュの空き箱



お菓子や食品などの空き箱



ラップやアルミホイルの箱と芯



紙袋(持ち手も紙のもの)



その他リサイクルできる紙類はたくさんあります



2 雑紙の出し方について

紙類の日にチラシに挟んで出してください。
紙袋やビニール袋に入れて出すこともできます。
ビニール袋に入れると雨の日でも出せます。



3 リサイクルできない紙類の例

汚れた紙類、感熱紙(レシートなど)、写真、油紙、カーボン紙、圧着はがき、ビニールやアルミで加工された紙、絵具やクレヨンのついた紙 ⇒ **燃やせるごみ**で出してください

【問合せ】 熊野市環境対策課(熊野市クリーンセンター) ☎89-2804